



# 美しい森林景観の創出

経済産業部 森林・林業局

## 森林景観整備の対応方針

- 世界文化遺産富士山の登録
- 世界遺産蘆山反射炉の登録
- 東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技の開催

本県に**国内外からの  
多数の来訪者**

### <森林景観向上の問題>



富士山の眺望を遮る樹木



暗く鬱蒼とした森林



道路上に張り出した枝葉

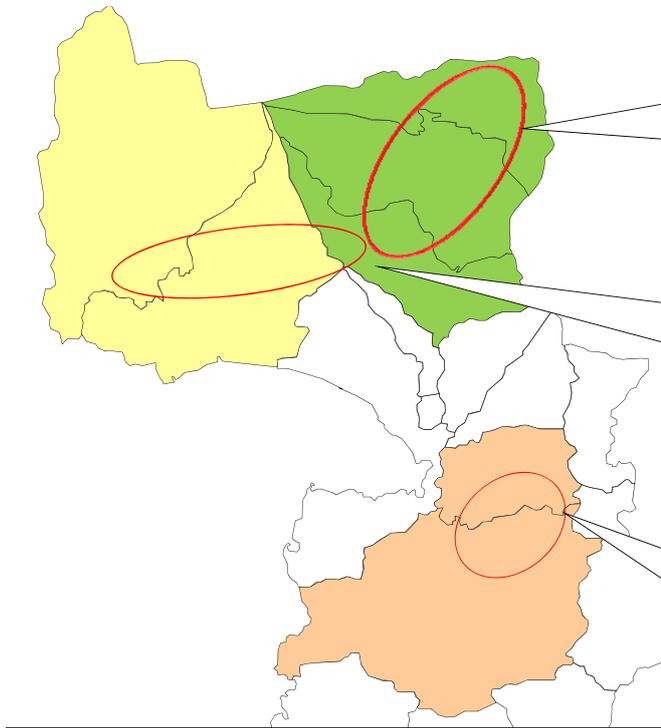
### 対応方針

- ・富士山の眺望の改善に向けた森林景観の整備
- ・世界遺産等関連施設等へのアクセス道路沿線の森林景観の向上
- ・競技環境及び通行車両見通しの改善

# 森林景観整備の実施状況

## 富士山地域、伊豆地域、自転車ロードレースコースの沿線で実施

ー「安全・快適の道」緊急対策事業（森林）



### <ロードレースコース>

- 自転車競技コース沿線等
- 御殿場市、裾野市、小山町
- 整備面積 12ha H30～R1

### <富士山>

- 世界遺産構成資産へのアクセス道沿線
- 富士市、富士宮市、裾野市
- 整備面積 220ha H26～R1

### <伊豆>

- 韮山反射炉周辺・伊豆ペロドロームアクセス道沿線
- 伊豆市、伊豆の国市
- 整備面積 75ha H29～R1

## ロードレースコースにおけるモデル整備（H30）

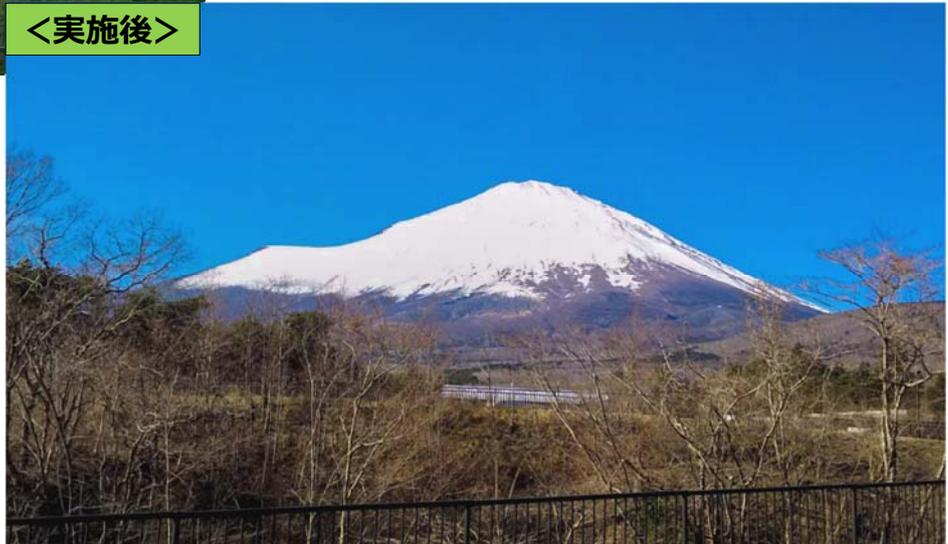
### 富士山の眺望の改善 世界に向けた映像の発信

#### <実施前>



- 整備場所：道の駅すばしり（小山町）  
国道138号沿線
- 整備内容：富士山の眺望を遮る樹木を間伐

#### <実施後>



# 間伐率による景観向上効果を検証

## <モデル整備での目的>

競技環境及び通行車両見通しの改善

## <手 法>

- ・カーブ脇の針葉樹の間伐
- ・景観向上に最適な間伐率を検討するため、10～30%と段階的に伐採

## <結 果>

見通しが確保され競技環境が改善されるとともに、森林景観としても優れる間伐率30%が適当であると判断

人工物を隠すため樹木を適度に残すなど箇所合わせた最適な整備も必要

間伐率	近景	遠景
間伐前		
10%		
20%		
30%		

# 競技関係者の意見を反映

(一財) 日本自転車普及協会 栗村 修 主幹調査役



## <モデル整備前>

- ・選手は、見通しが効き、視界が開いている方がよく、張り出した枝葉は除去したほうがよい
- ・一方で、見通しもレース環境の一部。全てのコーナーを整備する必要はない



## <モデル整備後>

- ・競技的な側面においても視界が確保されており、大変良い整備だ
- ・メディアを意識した注目の集まる場所を選び、整備してくれた
- ・テストイベントまでに、競技環境の改善に尽力されたことに深く感謝



テストイベントの状況

# 整備による景観向上効果等の状況

## <テストイベントでの状況>



公式カメラマンが、**撮影ポイント**として選定

## <波及効果>



整備に伴う**木材の利用**



冬季の道路**凍結を抑制**



**地域の防犯**に寄与

# 東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーのひとつとしての**森林景観整備**の手法を普及

## <今後の取組>

**県**

景勝地などの周辺森林

森林組合等が行う**間伐促進事業**に**森林景観整備の手法**を活用

**市町**

森林環境譲与税の活用

県は市町に専門家を派遣するなど、**森林景観整備の手法**を助言

本年度、**裾野市**が主体となり森林景観整備を予定

森林景観整備の手法を**全県**に広める・更に磨きをかける

未来にわたって**魅力ある県土づくり**を推進